96種類の真菌の性状とそれぞれに適した培養・同定方法から病原性・殺菌方法・汚染経路をすべて掲載!

【 微生物図鑑 】
培養・同定と汚染制御 Vol.1 真菌

EB014

～病原性、性状、培地・培養、検出・分離・同定、生態分布、汚染経路、殺菌方法～

【書籍】＋【ebook】セット！ カラー写真で見る真菌の発育形態とを目指した技術専門図鑑！！
空気中、水中、食品、土壌、昆虫に存在する真菌などについて、病原性（アレルギー、感染症など）の有無や、それぞれの嫌気性/好気性、繁殖しやすい温度・場所、耐乾性の有無から、分布地域、培養温度と期間、適切な培地作成と同定法について、余すところなく掲載！！

発刊：2014年9月29日
体裁：B5判上製本 229頁
ISBN978-4-86428-111-9
価格（税込）　:66,000円
（本体60,000円＋税）
※E-Mail案内登録 :62,700円
（本体57,000円＋税）
※E-Mail案内登録
郵送DM案内登録あるいはE-mail案内登録をしていただくと、価格が5%OFFになります。

監修者　野本 明男氏　(公財)微生物化学研究会 理事長
微生物化学研究所 所長
東京大学 名誉教授

著　者　矢口 貴志氏　千葉大学　准教授
真菌医学研究センター
微生物資源分野　バイオリソース管理室長

趣　旨

形態観察・生理学的特徴から素早く微生物の推定・同定を行い、汚染制御/殺菌を行うためのマニュアル付！

当書籍の体裁と使い方

総論では、真菌の分類・同定方法から、酵母・糸状菌・胞子・有性胞子・無性胞子などの基礎知識、健康被害と製造現場での汚染原因・経路とトラブル事例、規格試験について網羅した内容となっておりますので、一から勉強したい方に役立ちます。

各論では、96もの真菌について、それぞれの菌について、培地名を記載したコロニー・電顕での撮影、培養日数別、温度別など、可能な限りで多くのパターンで写真を撮影し、それぞれの培地作成や培養方法、同定方法から、分布形態、病原性の有無、温度による性状の変化、目視で他菌と混同しやすい菌などの注意事項など、詳細にわたり解説しておりますので、中上級者でも微生物の同定をする方にはオススメです。

目　次

総論
1. 真菌の分類学的位置
2. 真菌の形態と生殖
3. 真菌の分類
4. 真菌の検査法
5. 真菌の同定法
6. 分子生物学的検査
7. 真菌による健康被害
8. 真菌の有効活用
9. 真菌の製造現場での汚染
10. 真菌の規格試験
11. 真菌株の保存機関

各論　一部
1　Absidia corymbifera
2　Acremonium alternatum
3　Alternaria alternata
4　Aspergillus clavatus
5　Aspergillus flavus
6　Aspergillus fumigatus
7　Aspergillus nidulans
8　Aspergillus niger
9　Aspergillus ochraceus
10　Aspergillus sydowii
11　Aspergillus terreus
12　Aspergillus versicolor
13　Aureobasidium pullulans
14　Beauveria bassiana
15　Botrytis cinerea
16　Byssochlamys fulva
17　Byssochlamys nivea
18　Candida albicans
19　Candida dubliniensis
20　Candida glabrata
21　Candida krusei
22　Candida parapsilosis
23　Candida tropicalis

詳細は裏面へ

書籍申込用紙　EB014（微生物（真菌））　製本付

会社名 団体名	
部　署	
役　職	住　所　〒
ふりがな	
氏　名	
TEL	FAX
E-mail	※ebook閲覧に必要となるため、必ずご記入ください。

※太枠の中をご記入下さい。
※E-mailアドレスまたはFAX番号を必ずご記入下さい。

購入冊数　　冊

今後のご案内　□にチェックをご記入ください。
□E-mail希望・登録済み
□郵送希望・登録済み
□希望しない
} E-Mail案内登録価格を適用いたします。(E-mailアドレス必須)

振込予定日　　月　　日

通信欄

●申込みについて
ebookのお申込みは弊社Webサイトから受け賜ります
お申込みを確認次第、弊社より閲覧方法、請求書をお送りします。

●お支払いについて
代金は銀行振込にて、原則として
商品到着後1ヶ月以内にお支払いください。
原則として領収書の発行はいたしません。
振込手数料はお客様がご負担ください。

●クーリングオフについて
ebookにつきましては、クーリングオフが行えません
製本版も同様でございます。
●個人情報の取り扱いについて
ご記入いただいた個人情報は、
事務連絡・発送の他、情報案内等に使用いたします。
詳しくはホームページをご覧ください。
●その他
書籍により製本付をご準備しております。

※申込用紙が複数枚必要な場合等は、本用紙をコピーしてお使いください。

サイエンス & テクノロジー
研究・技術・事業開発のためのセミナー/書籍
サイエンス&テクノロジー株式会社
TEL 03-5733-4188　FAX 03-5733-4187
〒105-0013　東京都港区浜松町1-2-12 浜松町F-1ビル7F
https://www.science-t.com

目　次

総論
はじめに
1. 真菌の分類学的位置
2. 真菌の形態と生殖
　2.1. 酵母
　2.2. 糸状菌
　2.3. 胞子
　2.4. 有性胞子
　　2.4.1. 卵胞子
　　2.4.2. 接合胞子
　　2.4.3.　子のう胞子
　　2.4.4.　担子胞子
　2.5. 無性胞子
　　2.5.1. 遊走子
　　2.5.2. 胞子のう胞子
　　2.5.3. 分生子
3. 真菌の分類
　3.1. 真菌の分類体系
　3.2. 有性型と無性型の学名
　3.3. 命名規約改正による有性型－無性型学名の統一
4. 真菌の検査法
　4.1. 真菌の分離法
　　4.1.1. 寒天平板混釈法
　　4.1.2. 寒天平板塗抹法
　　4.1.3. メンブランフィルター法
　　4.1.4. 液体培養希釈法
　4.2. 培地
5. 真菌の同定法
　5.1. 肉眼的観察
　5.2. 顕微鏡による観察
　5.3. スライドカルチャー
　5.4. 走査型電子顕微鏡による観察
6. 分子生物学的検査
　6.1. 血清学的検査
　6.2. 遺伝子解析による分類
　6.3. 塩基配列の決定，相同性解析による同定法
　6.4. 多相分類
7. 真菌による健康被害
　7.1. 真菌症
　　7.1.1. 表在性皮膚真菌症
　　7.1.2. 深在性皮膚真菌症
　　7.1.3. 日和見真菌症
　　7.1.4. 輸入真菌症
　7.2. アレルギー
　7.3. マイコトキシン
　　7.3.1. アフラトキシン
　　7.3.2. オクラトキシン
　　7.3.3. シトリニン
　　7.3.4. トリコテセン系マイコトキシン
8. 真菌の有効活用
　8.1. 抗高脂血症薬
　8.2. 抗真菌剤
　8.3. 免疫抑制剤
　8.4. 免疫賦活剤
9. 真菌の製造現場での汚染
　9.1. 真菌によるトラブルの要因
　9.2. 汚染の原因となる真菌の制御
　　9.2.1 真菌の侵入防止
　　9.2.2 真菌の増殖・拡散防止
　　9.2.3 真菌汚染の除去
　9.3. トラブル発生時の対応
　9.4　真菌の制御
　　9.4.1　物理的制御
　　9.4.2　抗菌剤
10. 真菌の規格試験
　10.1. 医薬品等の微生物限度試験
　10.2. 薬剤感受性試験

11.　真菌株の保存機関
　11.1　保存菌株の利用方法
　　11.1.1　同定のためのレファレンス株
　　11.1.2　薬剤感受性試験・耐熱試験
　　11.1.3　交配試験
　　11.1.4　分類学的研究
　　11.1.5　生物資源、遺伝子資源としての有効利用
　11.2　国内の菌株保存機関
　　11.2.1　製品評価技術基盤機構 NBRC（略称：NBRC）
　　11.2.2　理化学研究バイオリソースセンター微生物材料開発室（略称：JCM）
　　11.2.3　千葉大学真菌医学研究センター（略称：IFM）
　11.3　世界的な菌株保存機関

各論
1　Absidia corymbifera
2　Acremonium alternatum
3　Alternaria alternata
4　Aspergillus clavatus
5　Aspergillus flavus
6　Aspergillus fumigatus
7　Aspergillus nidulans
8　Aspergillus niger
9　Aspergillus ochraceus
10　Aspergillus sydowii
11　Aspergillus terreus
12　Aspergillus versicolor
13　Aureobasidium pullulans
14　Beauveria bassiana
15　Botrytis cinerea
16　Byssochlamys fulva
17　Byssochlamys nivea
18　Candida albicans
19　Candida dubliniensis
20　Candida glabrata
21　Candida krusei
22　Candida parapsilosis
23　Candida tropicalis
24　Chaetomium funicola
25　Chaetomium globosum
26　Cladophialophora bantiana
27　Cladosporium cladosporioides
28　Cladosporium sphaerospermum
29　Coccidioides immitis
30　Cryptococcus neoformans
31　Cunninghamella bertholletiae
32　Curvularia lunata
33　Eupenicillium brefeldianum
34　Eupenicillium lapidosum
35　Eurotium repens
36　Eurotium rubrum
37　Exophiala dermatitidis
38　Exophiala jeanselmei
39　Fonsecaea pedrosoi
40　Fusarium graminearum
41　Fusarium proliferatum
42　Fusarium solani
43　Fusarium verticillioides
44　Geosmithia argillacea
45　Geotrichum candidum
46　Gliocladium viride
47　Hamigera avellanea
48　Hamigera striata
49　Histoplasma capsulatum
50　Malassezia furfur
51　Microsporum canis
52　Microsporum gypseum
53　Monascus ruber
54　Myrothecium verrucaria
55　Neosartorya fischeri
56　Neosartorya glabra
57　Neosartorya hiratsukae
58　Neosartorya pseudofischeri
59　Neosartorya spinosa
60　Nigrospora sphaerica
61　Paecilomyces lilacinus
62　Paecilomyces variotii
63　Penicillium chrysogenum
64　Penicillium citrinum
65　Penicillium digitatum
66　Penicillium expansum
67　Penicillium glabrum
68　Penicillium marneffei
69　Penicillium rugulosum
70　Penicillium verrucosum
71　Pestalotiopsis disseminata
72　Phialophora verrucosa
73　Pseudallescheria boydii
74　Rhizomucor pusillus
75　Rhizopus microsporus
76　Rhizopus oryzae
77　Rhodotorula mucilaginosa
78　Saccharomyces cerevisiae
79　Schizophyllum commune
80　Scopulariopsis brevicaulis
81　Sporothrix schenckii
82　Stachybotrys chartarum
83　Talaromyces flavus
84　Talaromyces luteus
85　Talaromyces trachyspermus
86　Talaromyces wortmannii
87　Thermoascus aurantiacus
88　Thermoascus crustaceus
89　Thielavia terricola
90　Trichoderma koningii
91　Trichoderma viride
92　Trichophyton mentagrophytes
93　Trichophyton rubrum
94　Trichophyton tonsurans
95　Trichosporon asahii
96　Wallemia sebi